人材育成・確保

宮崎県（ひなたのチカラ林業担い手確保育成推進事業 うち「ひなたのチカラ林業経営者支援体制強化事業」）

- 本県のスギ素材生産量は、平成３年から連続して日本一であるが、林業担い手の減少や高齢化などから伐採後に再造林されない森林が増えつつあり、造林事業の主要な担い手となる「ひなたのチカラ林業経営者」の確保が課題となっている。
- そのため、「ひなたのチカラ林業経営者」への新規・更新登録に関する相談や、伐採・造林に関する行動規範の策定、各種助成制度活用のアドバイス等を林業に関する知識を持った職員を有する団体に委託し、効果的に実施した。

□ 事業内容

1　ひなたのチカラ林業担い手確保育成推進事業
（うち「ひなたのチカラ林業経営者支援体制強化事業」）

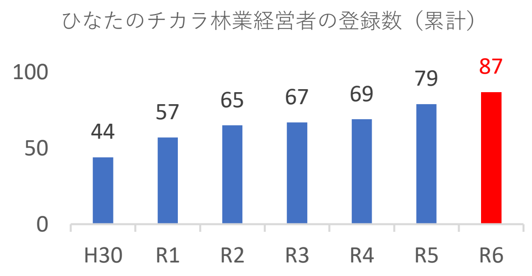
・「ひなたのチカラ林業経営者」への新規登録を希望する事業体や登録の更新が必要な事業体に対する相談対応、審査・指導、助言を実施

【事　業　費】17,318千円（うち譲与税1,964千円）
【実　　　績】指導事業体数　３８者
内訳：①新規登録に関する指導　１２者
②更新登録に関する指導　２１者
③その他相談対応　５者

□ 取組の背景

・「ひなたのチカラ林業経営者」は森林経営管理制度の担い手として、再造林や法令、行動規範の遵守が求められている。令和５年時点で７９者登録されているが、新規登録者を増加させる取組が必要とされる。

・そこで、登録や規範の策定等に関する助言や指導を行い、新たな担い手の確保に取り組んでいる。



（事業体への指導状況）

□ 工夫・留意した点

・素材生産事業者に対し、総合的な指導を行っている宮崎県造林素材生産事業協同組合に業務を委託することで、事業体の実態に即した、効果的な指導等を実施することができた。

□ 取組の効果

・令和６年度に新たに10者を新規登録し、令和7年３月末時点で登録者数は87者になった。また、登録更新者についても、相談に対し適切な助言・指導を行うことができた。

◇ 基礎データ

①令和６年度譲与額：200,856千円	②私有林人工林面積（※１）：230,240ha
③人口（※２）：1,069,576人	④林業就業者数（※２）：3,587人

※１：「2020農林業センサス」より、※２：「R2年国勢調査」より